

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月12日

東・福

上場会社名 武蔵野興業株式会社

上場取引所

コード番号 9635

URL <https://www.musashino-k.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	981	△2.4	28	△31.8	51	7.4	326	732.5
2025年3月期第3四半期	1,006	7.6	42	603.9	47	—	39	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 327百万円(730.6%) 2025年3月期第3四半期 39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	312.04	—
2025年3月期第3四半期	37.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,354	3,942	62.0
2025年3月期	6,071	3,615	59.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,942百万円 2025年3月期 3,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,280	△6.2	30	△56.7	63	△27.7	340	423.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	1,050,000株	2025年3月期	1,050,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,873株	2025年3月期	3,830株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	1,046,149株	2025年3月期3Q	1,046,319株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、所得環境の改善やインバウンド消費増加などの景気下支え要因が見られる一方、不透明な世界情勢が及ぼす景気への影響、物価上昇による消費マインドへの影響など、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業部門において業績の向上に努めてまいりました。

その結果、全体として売上高は9億8千1百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は2千8百万円（前年同期比31.8%減）、経常利益は5千1百万円（前年同期比7.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千6百万円（前年同期比732.5%増）となりました。

なお、2025年8月28日公表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、第2四半期連結会計期間に投資有価証券売却益（特別利益）を計上しています。また、2025年8月7日公表の「シネマカリテ閉館に関するお知らせ」の通り、当第3四半期連結会計期間に事業所閉鎖損失（特別損失）を計上しています。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

（映画事業部門）

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、特集上映企画『《北欧の至宝》マッツ・ミケルセン生誕60周年祭』や、リマスター上映『落下の王国 4Kデジタルリマスター』などが好調に推移し、興行成績は昨年を上回りました。また「シネマカリテ」では、『消滅世界』、『世界一不運なお針子の人生最悪な1日』などを上映するとともに、シネマカリテの歴代上映作品の中から厳選した13作品を「カリテ メモリアルセレクション」として上映しました。なお、2026年1月12日をもちまして「シネマカリテ」は閉館いたしました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『Dr. カキゾエ 歩く処方箋〜みちのく潮風トレイルを往く〜』（邦画）が、地方都市部を中心に順次公開となり、数多くの劇場で上映・舞台挨拶が行われました。

その結果、部門全体の売上高は3億2千4百万円（前年同期比6.4%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期は2千5百万円のセグメント損失）となりました。

（不動産事業部門）

不動産賃貸部門におきましては、主要テナントビルの設備更新など維持管理に努めつつ、テナント収入は安定的に推移しました。不動産販売部門におきましては、引き続き仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は4億3千1百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は2億4千8百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

（自動車教習事業部門）

自動車教習事業部門におきましては、中型車、準中型車、大型特殊車や二輪車などの免許取得に対するニーズの高まりにより、これらの新規入所者数は概ね前年と同水準となりました。また、入所後の教習課程の消化につきましては、中型車、けん引車以外の車種において前年実績を超えるとともに、受講者が増加傾向にある高齢者講習の受託数も前年同期間を上回りました。一方、上期に行った教習車の買い替えや教習所設備の大型改修工事により費用が増加したため、セグメント損益は前年同期間を下回りました。その結果、部門全体の売上高は2億1千3百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期比96.9%減）となりました。

(商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績は安定的に推移し、前年同期の実績を上回りました。その結果、部門全体の売上高は5百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

(その他)

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は5百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金など流動資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円増の63億5千4百万円となりました。

(負債)

負債合計は、有利子負債の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減の24億1千1百万円となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円増の39億4千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2026年3月期の通期連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日（2026年2月12日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,276	1,179,282
売掛金	39,850	49,534
棚卸資産	1,171	945
その他	48,183	88,336
流動資産合計	950,481	1,318,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	451,043	442,052
機械装置及び運搬具（純額）	23,411	50,482
工具、器具及び備品（純額）	28,484	22,179
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産（純額）	5,826	4,542
有形固定資産合計	4,412,934	4,423,425
無形固定資産		
借地権	73,315	73,315
その他	12,492	11,286
無形固定資産合計	85,808	84,602
投資その他の資産		
投資有価証券	447,628	369,148
繰延税金資産	53,774	46,424
敷金及び保証金	88,646	85,926
その他	36,489	31,032
貸倒引当金	△4,184	△4,124
投資その他の資産合計	622,353	528,407
固定資産合計	5,121,096	5,036,434
資産合計	6,071,578	6,354,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,761	73,918
短期借入金	50,743	52,128
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	25,011	21,796
賞与引当金	15,064	5,320
その他	211,904	228,181
流動負債合計	380,318	383,177
固定負債		
長期借入金	261,125	225,956
リース債務	3,994	2,620
退職給付に係る負債	61,314	50,274
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	618,369	618,369
再評価に係る繰延税金負債	1,113,651	1,113,651
その他	8,603	8,634
固定負債合計	2,075,964	2,028,413
負債合計	2,456,283	2,411,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	195,973	522,413
自己株式	△9,156	△9,252
株主資本合計	1,191,317	1,517,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,349	4,652
土地再評価差額金	2,420,628	2,420,628
その他の包括利益累計額合計	2,423,978	2,425,281
純資産合計	3,615,295	3,942,942
負債純資産合計	6,071,578	6,354,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,006,066	981,565
売上原価	510,199	461,396
売上総利益	495,866	520,168
販売費及び一般管理費	453,449	491,230
営業利益	42,417	28,938
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,400	2,055
持分法による投資利益	4,296	19,617
その他	1,101	3,543
営業外収益合計	7,798	25,216
営業外費用		
支払利息	2,102	1,964
その他	158	664
営業外費用合計	2,260	2,628
経常利益	47,955	51,527
特別利益		
投資有価証券売却益	-	376,452
特別利益合計	-	376,452
特別損失		
固定資産除却損	-	4,759
事業所閉鎖損失	-	29,254
特別損失合計	-	34,014
税金等調整前四半期純利益	47,955	393,964
法人税、住民税及び事業税	8,910	60,773
法人税等調整額	△168	6,750
法人税等合計	8,741	67,524
四半期純利益	39,213	326,439
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,213	326,439

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	39,213	326,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	1,303
その他の包括利益合計	244	1,303
四半期包括利益	39,458	327,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,458	327,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	347,127	36,325	210,313	5,579	599,346	5,864	605,211
その他の収益	—	400,854	—	—	400,854	—	400,854
外部顧客への売上高	347,127	437,180	210,313	5,579	1,000,201	5,864	1,006,066
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	347,127	439,880	210,313	5,579	1,002,901	5,864	1,008,766
セグメント利益又は損失(△)	△25,312	251,151	16,820	5,579	248,239	5,692	253,932

(注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,239
「その他」の区分の利益	5,692
セグメント間取引消去	14,030
全社費用(注)	△225,545
四半期連結損益計算書の営業利益	42,417

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	324,940	31,316	213,352	5,625	575,234	5,957	581,192
その他の収益		400,373			400,373		400,373
外部顧客への売上高	324,940	431,689	213,352	5,625	975,607	5,957	981,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,700	—	—	2,700	—	2,700
計	324,940	434,389	213,352	5,625	978,307	5,957	984,265
セグメント利益又は損失(△)	△661	248,042	524	5,625	253,531	5,783	259,314

(注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	253,531
「その他」の区分の利益	5,783
セグメント間取引消去	9,231
全社費用(注)	△239,607
四半期連結損益計算書の営業利益	28,938

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	51,074千円	64,207千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。